

東京東南部

災害履歴図[地震災害]

1:50,000 地形図
とうきょうとうなんぶ

土地分類基本調査図(土地履歴調査)

平成二十二年 度調査



凡例

1. 大正12(1923)年関東地震における建物被害

①全潰率(全潰数)
※全潰率=全潰数/全戸数

②半潰率(半潰数)
※半潰率=半潰数/全戸数

③焼失・流失・埋没率
(焼失・流失・埋没数)
※焼失・流失・埋没率
=焼失・流失・埋没数/全戸数

④全戸数

芝区	1.51% (384)	1.25% (318)
芝浦区	44.24% (11227)	25379戸

①全潰率	②半潰率	③焼失・流失・埋没率
30%以上	10 - 30%	1 - 10%
0.1 - 1%	0.1%未満	

【資料】
諸井孝文・武村雅之(2002) 関東地震(1923年9月1日)による木造住家被害データの整理と震度分布の推定, 日本地震工学会論文集, 2(3), p. 35-71.

2. 大正12(1923)年関東地震における液状化地点

● 町村名や大字名など、複数の集落で構成される地域名で特定される地点

○ 集落名や町丁目名など、地区名で特定される地点

⊗ 番地や集落内の小字名など、地点に近い情報で特定される地点

○ 正確な範囲が特定されている地点

● 正確な位置が特定されている地点

【資料】
若松加寿江(2011) 日本の液状化履歴マップ 745-2008(DVD-ROM付き), 東京大学出版会, 90p.

3. 大正12(1923)年関東地震における津波の高さ

▲ 5 m以上
▲ 3 ~ 5 m
▲ 1 ~ 3 m
▲ 1 m未満 (単位:T.P.上m)

【資料】
田中船 秀三(1926) 関東大地震と海岸の昇降運動(其三), 地学雑誌, 38(448), p.324-325.
震災予防調査会(1925) 震災予防調査会報告, 100(乙).

【注】
津波記号は上記資料をもとに、旧地形図上の地名に近い海岸付近に表示した。

4. 大正12(1923)年関東地震における焼失区域

■ 東京市の焼失区域

【資料】
内務省社会局(1926) 大正震災志 付図, 東京市震災発火地点及焼失区域図.

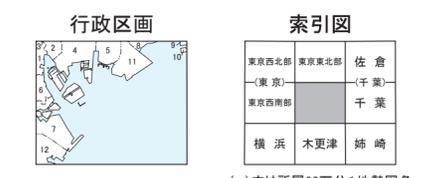
(その他)

--- 大正9(1920)年の市町村界

【資料】
国土計画局(2010) 国土数値情報, 行政区域データ, 大正9年.

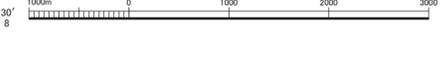
平成二十三年 二月発行 国土交通省 土地・水資源局

- ### 摘要
- 経緯度の基準は世界測地系
 - 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第54帯、中央子午線は東経141°
 - 作業機関 東京カートグラフィック株式会社
 - 背景地図 数値地図50000(地図画像)平成18年修正
 - 対応する二次メッシュコード 533926,533927,533936,533937



- 東京都
- 港区
 - 中央区
 - 千代田区
 - 江東区
 - 江戸川区
 - 品川区
 - 大田区
- 千葉県
- 市川市
 - 船橋市
 - 習志野市
 - 浦安市
 - 川崎市

1:50,000 東京東南部



この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(土地条件)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平成22業使、第703号)